

# 彩湖

だより

S A I K O



## 21世紀の 世界への 贈り物

地球上に現在を  
生きている者として、自然の  
様々の恩恵に感謝しよう。  
21世紀最大の願いは「恒久  
の世界平和」に尽きる。次  
には「地球環境」を真剣に  
考えて行こう。次代を生きる  
人達のために“永

## 引き継ぐものは「何」？

遠なる豊かな“緑の地球”を。  
そして、地球上の一人一人の  
必須の財産としてしっかり  
引き継ぎをしよう。当センター  
も微力ですが、小さな動物  
植物を育て続けてまいります。

# 彩湖の四季

## The seasons of SAIKO

### 冬

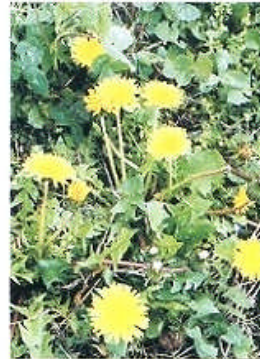
冬の彩湖は鳥たちの楽園です。水面には遠い北国から渡って来た沢山の渡り鳥が浮かんでいます。美しい彩りのマガモ、コガモ、ハシビロガモ、オナガガモなどや珍しいカンムリカイツブリ、ミコアイサがのんびりと羽を休めている姿が見られます。上空には、オオタカ、ハヤブサ、ノスリ、チョウゲンボウなどの猛禽類が獲物をねらって、飛翔している様子も見受けられるでしょう。



コガモ

### 春

色とりどりの花が咲き乱れるのは、春が最高です。早春にはオオイヌノフグリやホトケノザが小さな可憐な花を咲かせ、続いて彩湖の



周りに桜の花が咲き誇ります。中には、御衣黄（ギョイコウ）など珍しい桜もあります。

その後、土手を真っ黄色に染めるのはタンポポです。よく探すと市街地ではほとんど見られないカントウタンポポやエゾタンポポも見つけることができるでしょう。

エゾタンポポ

### 夏

野草類は花があまり目立たないイネ科の穂が中心になって、シマスズメノヒエが一面に広がり、エノコログサの仲間があちこちに群落を作っています。

暑い中、元気に育っているのは昆虫類です。草原の中にはトノサマバッタ、クルマバッタ、オンプバッタ、ツユムシの仲間などが飛び回り、水辺ではシオカラトンボやコシアキトンボなどが勢いよくエサを追って飛んでいます。



シオカラトンボ



黄色と白の縞模様

彩湖の周辺に黄色の帯と白色の帯が縞模様を織り成し見事な自然の彩りを展開します。これはセイタカアワダチソウとオギの群落が一斉に花穂を咲き競うためです。

晩秋ともなると、彩湖にはもう冬の渡り鳥が渡来して来ます。

### 秋

クヌギやカシの木からドングリがたくさん落ちてきます。藪の中にはカラスウリの赤い実が垂れ下がり秋を感じさせます。

10月頃には彩湖の周辺に黄色の帯と白色の帯が縞模様を織り成し見事な自然の彩りを展開します。これはセイタカアワダチソウとオギの群落が一斉に花穂を咲き競うためです。

晩秋ともなると、彩湖にはもう冬の渡り鳥が渡来して来ます。



## 春の七草

春の七草の寄せ植え (センター講座の作品)



ハハコグサ (春には黄色い花を開く)



ナズナ (ベンベン草ともいわれる)

正月七日の朝、七草粥を食べる習慣は、古く室町時代から伝えられた行事の一つと言われています。

七草粥に入れて食べる「春の七草」とは、せり(セリ)、なずな(ナズナ)、あぎょう(ハハコグサ)、はこべら(ハコベ)、ほとけのざ(コオ



ハコベ (白い小さな花をつける)

ニタビラコ)、すずな(カブ)、すずしろ(ダイコン)の七種類を言いますが、昔と今では名前が異なるものがあります。

センターでは「春の七草の寄せ植え」や「七草粥を食べる会」などの講座を開いています。

## 総合的な学習の時間の取り組み

21世紀をよりよく生きるためにふさわしい力を子どもたちにつけることを目指し、今年度より新しい学習指導要領を踏まえた教育活動がスタートしました。その中でも総合的な学習の時間は「生きる力」をはぐくむ中核的な活動です。この活動は主体的な体験や問題解決を重視し、自ら学び、自ら考える学習を大切にしていこうとするものです。

今、多くの小・中学生が彩湖自然学習センターを中心に周辺の自然環境を活動の場として訪れ、自然とのふれあいを楽しみ、問題解決に取り組んでいます。昆虫・植物採集やザリガニ釣り、野鳥観察などの活動に子ども



たちは目を輝かせながら取り組み、多くの感動を得ているようです。初めて手にしたバッタの感触など五感をとおして野生



の生き物とのふれあいを楽しむとともに、自然の神秘さ・生命の大切さに気づくなど豊かな感性をはぐくんでいます。

「環境の世紀」とも言われる21世紀を担う子どもたちの豊かな成長を願い、センターの自然観察指導員が子どもたちの活動を支援しています。自然生態系と私たちがどのように関わっているのか、どのように行動したら豊かな自然を守るかなどの関心を高め、共に考えていきたいと思えます。

## 彩湖周辺散策

ザリガニ池は、ミニ彩湖の西側にひっそりと位置しています。例年、沢山の小学校の児童が体験学習で訪れます。

T小・O君「おれ、はじめて！」Sさん「そうーあ、あたし、何回もやったことあるよ」「フーン」とO君。それは、それは純真で真剣。でも、おそろおそろ目を買ん丸にしてザリガニ釣りに初挑戦。

そして数分、『やったあ・・・』目をさらに丸くし、興奮と感動で顔を真っ赤にして、釣り上げた獲物に見入っている。(実は彼が釣り上げたザリガニは、体長およそ2cmほどの生まれだての赤ちゃんなのである。)  
「Oくん、おめでと。やったねえ、すごいじゃないか」と、わたくし。O君『うん、やったね、一匹ゲットした。ほく、はじめてだあ』彼は、暫くの間興奮状態。うれしかったんだなあ……私のほうも感激しきり。

## 彩湖自然学習センター講座

### こども自然クラブ

### —おしゃれな植物標本—

秋の野に咲くかわいい花の観察会から始めました。白い花、黄色い花、赤い花など普段見落としてしまうような花を見つけては、大事に摘み取りました。摘んだ花を瓶の中に入れ、さらに乾燥剤のシリカゲルを入れます。1週間後に乾燥剤を取り出して、おしゃれな植物標本の完成です。瓶の中で、いつまでもかわいい花が咲き続けます。



### 野鳥観察会

### —彩湖周辺の野鳥—

バードウォッチング初めてという方から上級者まで多くの方が集まり、野鳥とのふれあいを楽しんでいます。特にカワセミの美しい姿やハヤブサの勇壮な姿に感動の声があがります。この辺りでは観察できないと思っていた方も多く、「彩湖の自然の豊かさに驚きました」と野鳥との思わぬ出会いを喜んでいました。



### こども自然観察教室

### —葉っぱのしおりをつくらう—

初めに葉脈の働きについて学習しました。その後、葉脈標本を作製し、しおりにしました。参加者同志教え合い、協力しながらの活動です。葉肉を落とした段階で「きれい!」、染色した段階で再び「きれい!」と感動の声があがっていました。自然のつくり出す造形美に深く感銘を受けたようでした。



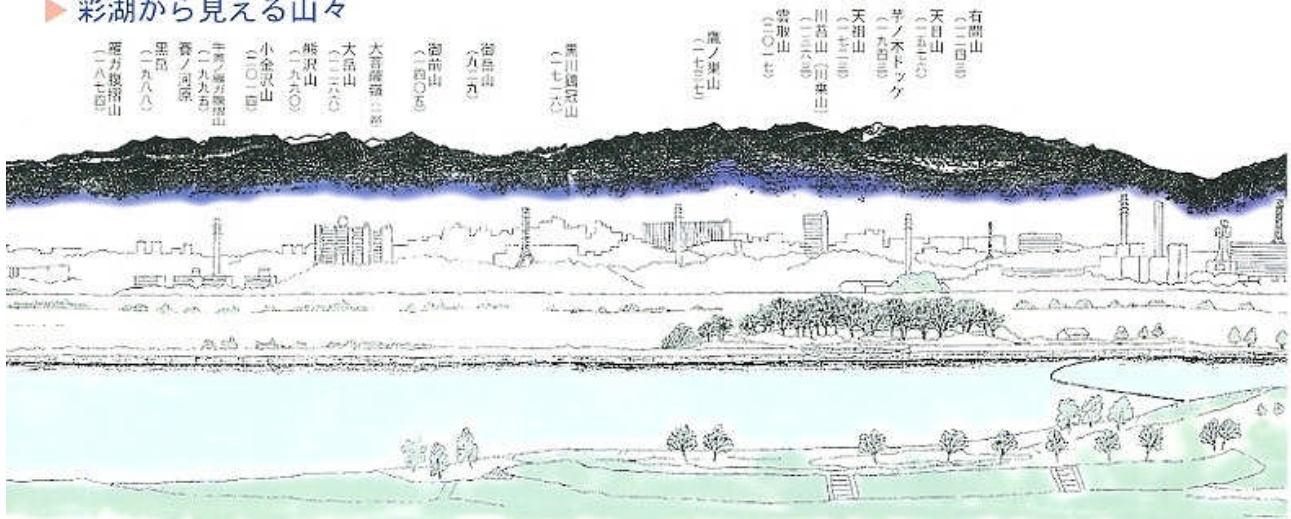
## 〈ザリガニ池〉

“驚きと感動”とともに、具体的活動や体験的活動を通して、体全体で学んでいくことが、物ごとについての見方・感じ方・考え方を豊かに発達させていくもの。

ミニ彩湖そしてその周辺の動植物、センター北側に広がる大草原はもとより、ザリガニ池も、子どもたちの真の体験学習のために十分に機能しているものと思います。



## ▶ 彩湖から見える山々



彩湖から見える山々は、11月中旬から3月下旬まで、晴れて特に北風の強い日に良く眺望することができます。西は、幸魂大橋よりやや右に丹沢山塊、美しい姿の富士山を背景にハイキングには絶好の高尾・影信・陣馬山と連なり、それから、今号で紹介の大菩薩連峰、奥多摩方面の山々と続きます。北東方面には、秩父地方の山並がぐっと間近に迫り、そして遠くに雪化粧をした浅間山が見晴らせます。北には、上州のからっ風が吹き下ろす榛名・赤城山、さらに上越国境の豪雪地帯の谷川岳をはじめ真っ白になった山が続き、日光方面の白根・男体・赤倉山で一区切りとなっています。東には唯一、筑波山の双耳峰まで一望できます。

なんといってもここからの眺めの良さはなにもさえぎるものがなく、富士山をはじめとする関東近郊の山々が見事に望めることです。また、南には新宿副都心の超高層ビル群、近くはさいたま新都心のおしゃれな建物、そして高速道路が目の前を突っ走る。まさに、彩湖周辺の自然と、遠くの景色との調和がとれ、素晴らしいパノラマが満喫できます。

四季の中でもとりわけ寒い期間は、野外での活動は限られますが、ここは北国から冬鳥がたくさんやって来ます。バードウォッチングもよし、山々を見るのもよし、冬の彩湖は楽しさいっぱいです。

## もよおしのご案内

- **野鳥観察会** 〈一般・親子対象〉  
～彩湖周辺の野鳥を観察する～  
・1月28日(日)・2月25日(日)・3月25日(日)
- **こども自然クラブ** 〈小・中学生対象〉  
～継続して自然体験・奉仕的活動を行う～  
・1月27日(土)・2月24日(土)

※開催日・内容等変更する場合がありますので、電話にてご確認ください。

## ご利用案内

- **開館時間** / 午前10時から午後4時30分まで
- **休館日** / 毎週月曜日(休日を除く)  
休日の翌日(土曜日・日曜日・休日を除く)  
館内整理日(毎月末日)  
(土曜日・日曜日・休日を除く)
- **入館無料** / 12月28日から翌年の1月4日まで

## 交通案内

- **お車ご利用の場合**
  - ・東京外環自動車道 戸田西ICより約0.5km
  - ・新大宮バイパス 美女木交差点より約1km
- ※彩湖・道満グリーンパーク南駐車場(500台収容)から徒歩3分
- **電車ご利用の場合**
  - ・JR北戸田駅から下笹目経由西川口駅行きバス
  - ・JR西川口駅西口から下笹目経由北戸田駅行きバス
  - ・JR南浦和駅西口から武蔵浦和駅経由下笹目行きバス
  - ・東武東上線成増駅北口から戸田車庫行きバス
- ※いずれのバスも「修行目」バス停下車徒歩8分



## 彩湖自然学習センター

〒335-0031 埼玉県戸田市大字内谷2887番地  
TEL048-422-9991 FAX048-422-9993